



SYDNEY JAPANESE
INTERNATIONAL
SCHOOL
シドニー日本人国際学校

悪天候に関する方針および手順

悪天候に関する方針および手順

概要：

子どもたちの安全確保は最も重要なことである。本校では、日中に異常気象が起きた場合、すべての学校関係者が対処法を十分理解し、適切に対処できるよう手順を定めている。この方針は、異常気象時に安全で快適な学校環境を維持するためのガイドラインとなる。異常気象とは、猛暑、稲妻、雷、雹(ひょう)を含む危険な嵐、霧/スモッグ、花粉、大気汚染、強風などを指します。

目的：

シドニー日本人学校の児童生徒、全職員、訪問者が悪天候時に安全で快適に過ごせるようにする。

異常気象の場合、学校のマネジメントチームは以下のことを行います：

- 異常気象警報を全職員および必要な場合は学校コミュニティと共有する。
- 差し迫った天候の厳しさを考慮し、適切な学校の対応と行動を決定する。
- 異常気象、または差し迫った異常気象の日の活動の種類や場所について、全職員と協力して適切な決定を下す。

状況への対応：

状況	アクション
猛暑 - 学校の管理者が決定する	● すべての児童生徒は、日陰の屋外施設、例えば、キンディの遊具、新しい遊具、1階のバルコニー、オーバルの横の木の下などを利用するように指示される。 ● 月、火、水、金曜日の休み時間には、冷房の効いた図書室を全児童生徒に開放する。 ● 校庭や屋外で活動する際は、「帽子をか

	ならず被る。帽子を忘れた場合は日陰やアンダーカバーエリアで遊ぶ。」ことを学校方針としている。 ● 学校指定の帽子の着用（中学部は自分の帽子） ● 全生徒に水を飲むように注意を促す。ペットボトルは教室に持ち込み可。 ● 児童生徒が不必要に猛暑にさらされる可能性のあるスポーツや体育活動は延期する。 ● 悪天候の場合は、雨天時の規則に従い、冷房の効いた教室で過ごす。
雨/雹	● 教職員と児童生徒はスピーカーからのアナウンスに耳を傾け、すぐに教職員とともに教室に戻る。 ● 雨天時のルール対応
雷・落雷・暴風雨	● 教職員と児童生徒はスピーカーからのアナウンスを聞き、教職員とともにすぐに教室に戻る。 ● 雨天時のルール対応
強風	● 教職員と児童生徒はスピーカーからのアナウンスに耳を傾け、すぐに教職員とともに教室に戻る。 ● 雨天時のルール対応
極端なスモッグ、霧、煙、大気汚染	● 教職員と児童生徒はスピーカーからのアナウンスを聞き、教職員とともにすぐに教室に戻る。 ● 雨天時のルール対応

学校でのスポーツや遠足が著しい雨天の場合、予定されている遠足やスポーツイベントの適切性が検討される。

その他の気象条件

学校は、現地の状況が厳しく、児童生徒の参加に危険性が高まる場合、制限を実施することを選択する場合がある。天候が児童生徒の安全に与える影響を見極めるため、校長がマネジメントと協力して決定を下す。児童生徒と全職員の安全を最大限に確保するため、常に気象局の専門知識を認識し活用する。